

平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月7日

上場取引所 JQ

上場会社名 協和医科ホールディングス株式会社
 コード番号 3154 URL <http://www.kyowaika.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 池谷 保彦
 (氏名) 柴田 英治

TEL 054-345-8799

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	45,834	—	677	—	771	—	455	—
21年6月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	515.58	—
21年6月期第3四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	21,716	4,976	22.9	5,629.87
21年6月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 4,976百万円 21年6月期 1百万円

(注) 当社は平成21年7月1日に協和医科器械(株)より単独株式移転の方法によって、株式移転設立完全親会社として設立されました。
 当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期	—	0.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 当社は平成21年7月1日に協和医科器械(株)より単独株式移転の方法によって、株式移転設立完全親会社として設立されました。
 当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,913	—	443	—	560	—	321	—	363.57

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	884,452株	21年6月期	—株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	589株	21年6月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第3四半期	883,867株	21年6月期第3四半期	—株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。
- 当社は平成21年7月1日に協和医科器械(株)より単独株式移転の方法によって、株式移転設立完全親会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の改善や新政権による緊急経済対策等により、設備投資は下げ止まりつつあり、生産、輸出及び個人消費についても増加傾向にあります。しかし、依然として雇用情勢は厳しく、海外景気の下振れ懸念やデフレの影響等の景気を下押しするリスクの存在により、先行きについては慎重な見方が大勢を占めております。

医療業界におきましては、平成22年4月の診療報酬改定において10年振りのプラス改定となり、急性期入院医療に重点が置かれ、救急及び産科・小児科医療の充実・拡大並びに病院勤務医の負担削減について見直されました。しかし、医療機関を取り巻く環境は依然厳しく、経営が悪化している医療機関が増加し、医療機器への投資の抑制等、当社グループが属する医療機器販売業界の環境も更に厳しく、競争も激化しております。

このような状況の下、依然として医療機関からの価格引き下げ要求が多く、コンサルティング会社の参入や共同購買も増加しておりますが、大型備品の設備更新等による新規設備投資や診療報酬で回収可能な機器を購入する傾向が高まっており、当社グループはこの顧客のニーズに則した情報及びサービスの提供を行い、大型備品の販売及びシェアの拡大に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は45,834百万円、営業利益は677百万円、経常利益は771百万円、四半期純利益は455百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、以下のとおりであります。

(1) 医療機器販売事業

高額備品販売におきましては、急速な景気悪化の影響により凍結されていた大型備品購入も回復傾向にあり、医療機関の設備更新や増改築に伴う新規設備投資案件における情報を収集し営業に注力した結果、予想以上の販売を獲得するに至りました。消耗品販売におきましては、医療機関での症例数が増加したことに伴い、引き続き好調に推移いたしました。これらの結果、売上高は43,915百万円となりました。

利益面では、引き続き医療機関からの価格引き下げ要求により利益が圧迫されておりますが、仕入先との仕切価格の交渉や高額備品案件の獲得により利益の確保が出来たため、売上総利益は4,512百万円となりました。

(2) その他の事業

医療材料の購買・在庫管理ソフトのASPサービスは、予定していた案件の遅延に伴い低調に推移したものの、介護福祉機器の販売及びレンタルでは、高規格救急車積載備品やAED(自動体外式除細動器)等の備品販売が引き続き好調に推移いたしました。また、顧客拡大に向けての積極的な販売努力により、一般顧客への介護福祉機器のレンタルも確実に伸張しております。医療機器の修理及びメンテナンスは、納入実績に基づく営業活動や感染対策提案を行い、医療機器の保守点検が堅調に推移いたしました。以上により、その他の事業の売上高は1,919百万円、売上総利益は492百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は21,716百万円となりました。うち流動資産は18,110百万円、固定資産は3,606百万円であります。

流動資産の主な内容としましては、受取手形及び売掛金12,673百万円、現金及び預金2,398百万円、商品及び製品2,390百万円であります。

固定資産の主な内容としましては、有形固定資産1,891百万円、無形固定資産505百万円、投資その他の資産1,209百万円であります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は16,740百万円となりました。うち流動負債は16,441百万円、固定負債は299百万円であります。

流動負債の主な内容としましては、支払手形及び買掛金15,417百万円、未払法人税等329百万円あります。

固定負債の主な内容としましては、退職給付引当金107百万円あります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,976百万円となりました。なお、自己資本比率は22.9%、1株当たり純資産額は5,629.87円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,398百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,506百万円の収入となりました。

主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益772百万円、仕入債務の増加額4,172百万円等の収入要因に対し、売上債権の増加額3,574百万円等の支出要因が下回ったものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、793百万円の支出となりました。

主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出654百万円、無形固定資産取得による支出85百万円等の支出要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、92百万円の支出となりました。

主な要因としましては、配当金の支払額88百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、医療機関による大型備品の設備更新や、平成22年4月以降に予定していた設備備品の販売が前倒しとなったこと等もあり、概ね好調に推移いたしました。しかしながら、毎期第4四半期連結会計期間の傾向として、大型備品販売の案件が少なく、流動的な医療機関の予算執行の状況に大きく依存しており、また、平成22年4月の診療報酬改定による粗利益率の低下が見込まれるため、第4四半期連結会計期間の連結業績は低調に推移するものと予想されます。加えて販売費及び一般管理費につきましても、当第3四半期連結会計期間に実施を予定していた支店移転関連費用が、第4四半期連結会計期間での実施となる予定です。

以上により、通期の連結業績予想につきましては、当初の見込みから大幅な差異は生じないものと判断いたしました。よって、平成22年6月期の連結業績予想につきましては、平成21年8月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。ただし、当社グループを取り巻く今後の経営環境については流動的であることから、医療機関の動向を注視し、業績予想に修正の必要性が生じた場合にはただちに開示いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当社は平成21年7月1日に協和医科器械(株)より単独株式移転の方法によって、株式移転設立完全親会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
 (平成22年3月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,398,417
受取手形及び売掛金	12,673,447
商品及び製品	2,390,134
原材料及び貯蔵品	8,095
その他	644,338
貸倒引当金	△3,746
流動資産合計	18,110,686
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	344,341
土地	1,365,864
その他(純額)	181,452
有形固定資産合計	1,891,657
無形固定資産	505,172
投資その他の資産	
その他	1,245,743
貸倒引当金	△36,508
投資その他の資産合計	1,209,235
固定資産合計	3,606,065
資産合計	21,716,751

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成22年3月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	15,417,226
未払法人税等	329,283
賞与引当金	188,314
その他	506,545
流動負債合計	16,441,369
固定負債	
退職給付引当金	107,271
その他	192,073
固定負債合計	299,344
負債合計	16,740,714
純資産の部	
株主資本	
資本金	800,000
資本剰余金	825,897
利益剰余金	3,061,732
自己株式	△2,088
株主資本合計	4,685,540
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	290,496
評価・換算差額等合計	290,496
純資産合計	4,976,037
負債純資産合計	21,716,751

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	45,834,867
売上原価	40,829,615
売上総利益	5,005,252
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	1,848,661
従業員賞与	522,775
退職給付費用	89,785
法定福利費	304,401
減価償却費	190,369
賃借料	297,539
業務委託費	280,046
貸倒引当金繰入額	1,193
その他	793,185
販売費及び一般管理費合計	4,327,960
営業利益	677,292
営業外収益	
受取利息	2,893
受取配当金	2,406
仕入割引	84,646
その他	15,743
営業外収益合計	105,691
営業外費用	
支払利息	6,511
株式交付費	4,000
その他	1,042
営業外費用合計	11,554
経常利益	771,428
特別利益	
固定資産売却益	1,383
特別利益合計	1,383
特別損失	
固定資産除却損	490
特別損失合計	490
税金等調整前四半期純利益	772,321
法人税、住民税及び事業税	421,952
法人税等調整額	△105,341
法人税等合計	316,611
四半期純利益	455,710

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	772,321
減価償却費	202,052
賞与引当金の増減額(△は減少)	188,314
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,917
貸倒引当金の増減額(△は減少)	566
受取利息及び受取配当金	△5,300
支払利息	6,511
株式交付費	4,000
固定資産売却損益(△は益)	△1,383
固定資産除却損	490
売上債権の増減額(△は増加)	△3,574,990
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,435
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△54,667
仕入債務の増減額(△は減少)	4,172,493
未払消費税等の増減額(△は減少)	77,804
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△86,113
その他	△655
小計	1,711,924
利息及び配当金の受取額	5,781
利息の支払額	△6,511
法人税等の支払額	△204,408
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,506,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△654,159
有形固定資産の売却による収入	1,954
有形固定資産の除却による支出	△52
無形固定資産の取得による支出	△85,697
投資有価証券の取得による支出	△2,956
長期前払費用の取得による支出	△8,601
敷金及び保証金の差入による支出	△60,581
敷金及び保証金の回収による収入	15,937
その他	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△793,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による支出	△4,000
自己株式の取得による支出	△98
配当金の支払額	△88,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92,261
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	620,967
現金及び現金同等物の期首残高	1,777,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,398,417

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

	医療機器 販売事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する 売上高	43,915,193	1,919,674	45,834,867	—	45,834,867
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	43,915,193	1,919,674	45,834,867	—	45,834,867
営業利益	2,009,775	31,455	2,041,230	(1,363,937)	677,292

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主要な事業の内容

(1) 医療機器販売事業……医療機器の販売

(2) その他の事業………医療機器の修理及びメンテナンス、介護福祉機器の販売及びレンタル、医療材料の購買・在庫管理ソフトのASPサービス等

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)

該当事項はありません。